

各位

2019年3月11日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：岩本
TEL：03-6863-0048

旅行取扱状況の概観（平成31年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比81.0%、学生団体は同90.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同83.9%と前年を下回った。企画旅行については前年比106.8%と前年を上回り、個人旅行については同124.5%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比106.9%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比94.6%、学生団体は同96.6%と前年を下回り、団体旅行合計で同95.8%と前年を下回った。企画旅行については前年比103.8%と前年を上回り、個人旅行については同99.5%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比101.4%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比127.0%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は前年比104.3%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は企業系コンベンションの取扱人数が増加したが、職場旅行などの取扱人数が減少したことにより、前年比81.0%と前年を下回った。学生団体は、各種大会の取扱人数が増加した一方で、修学旅行の取扱人数の減少や研修旅行などの取扱単価が低下し、同90.9%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比83.9%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比106.8%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、オセアニアやハワイ方面および一部商品のクラブツーリズム商品への一体化の影響があるヨーロッパ方面などが前年から減少したが、アジアやマイクロネシア方面などが好調に推移した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは南欧（イタリア）、東地中海（エジプト、トルコ）、北欧、英国が好調で、クルーズではヨーロッパ方面が堅調であった。またアジアは低調が続いており、南米、中東が好調に推移している。北米、ハワイ、オセアニア方面は低迷が続いている。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比106.9%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、海外エージェントの取扱が増加したほか、個人旅行の宿泊商品やツアー型商品が好調に推移し、前年比127.0%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、職場旅行などの取扱人数が増加したが、企業系コンベンションなどの取扱人数が減少したことにより、前年比94.6%と前年を下回った。学生団体は、スキー教室や各種大会などの取扱人数が増加したが、修学旅行の取扱人数の減少により、同96.6%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比95.8%と前年を下回った。

国内企画旅行については、前年比103.8%と前年を上回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、伊勢志摩や南紀、東京方面などは好調に推移したが、沖縄や東北方面などは低調であった。クラブツーリズムは、西日本のふっこう割商品や、中部、伊勢、南紀、北陸、関西、九州、沖縄、離島の販売が好調に推移し、北海道方面では道東が好調に推移した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比101.4%と前年を上回った。

以上